

NO. 53 令和7年5月2日発行



北山村

編集発行
和歌山県北山村議会
TEL 0735-49-2331
FAX 0735-49-2207

議会だより



桜のライトアップ（おくところ公園）

令和7年3月定例会が開催されました

議決事項・質疑内容

P 2

一般質問 議会日誌 議員のひとりごと

P 3～P 6

令和7年3月定例会 ～令和7年度当初予算等を審議・可決～

本定例会は、3月10日、12日に開催されました。10日の開会日は、諸般の報告として、村長の施政方針並びに提案理由の説明、教育長から教育行政方針についての説明が行われ、その後、上程議案として専決処分の承認、条例改正、指定管理者の指定、令和6年度補正予算及び令和7年度当初予算、副村長の選任等が審議され、原案どおり可決されました。

11日の休会をはさみ、2日目の12日は一般質問が行われ、山口議員、中岸議員、阪上議員、久保議員がそれぞれ村行政についての質問を行いました。

●議決された条例・予算等の議案は以下のとおりです。

承認第1号	専決処分の承認について(和歌山地方税回収機構規約の一部を変更する規約)
承認第2号	専決処分の承認について(令和6年度北山村一般会計補正予算(第8号))
承認第3号	専決処分の承認について(北山村特別職報酬審議会条例の一部を改正する条例)
議案第1号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について
議案第2号	北山村長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について
議案第3号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
議案第4号	北山村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
議案第5号	北山村職員旅費条例の一部を改正する条例について
議案第6号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第7号	北山村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第8号	北山村使用料及び加入金の徴収に関する条例の一部を改正する条例について
議案第9号	北山村税条例の一部を改正する条例について
議案第10号	北山村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
議案第11号	北山村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
議案第12号	北山村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
議案第13号	北山村非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について
議案第14号	北山村給水条例の一部を改正する条例について
議案第15号	北山村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
議案第16号	北山村土地開発基金条例の廃止について
議案第17号	公の施設の指定管理者の指定について
議案第18号	令和6年度北山村一般会計補正予算(第9号)
議案第19号	令和6年度北山村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案第20号	令和6年度北山村介護保険特別会計補正予算(第2号)
議案第21号	令和6年度北山村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議案第22号	令和6年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計補正予算(第3号)
議案第23号	令和6年度北山村簡易水道事業会計補正予算(第3号)
議案第24号	令和7年度北山村一般会計予算
議案第25号	令和7年度北山村国民健康保険特別会計予算
議案第26号	令和7年度北山村介護保険特別会計予算
議案第27号	令和7年度北山村後期高齢者医療特別会計予算
議案第28号	令和7年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計予算
議案第29号	令和7年度北山村簡易水道事業会計予算
同意案第1号	北山村副村長の選任について

一般質問

おくとろ公園の熊谷組事務所跡地、テニスマ場の再利用を考える

山口 廣一郎

【質問】おくとろ公園内にある熊谷組事務所が近々撤去されると聞きました。

そこで、再利用と整備の提案をします。

一昨年は、観光筏下りが「林業遺産」に認定され、また、「ジャパンツーリズムアワード」の審査員特別賞も受賞しました。筏師の技術は、筏を流す技術はもちろん、筏を組む技術を忘れてはいけません。筏製作場をおくとろ公園内に移転する事により、国道から筏造りが見え、冬場の観光資源として役立つと考えますが、村長のご意見を聞かせください。

【答弁】林業遺産の認定理由には、「筏を流すだけではなく、筏を組む技術も含めた伝統の技術が、現在でも観光筏下りとして保存・継承されており、伝統的な筏流しの姿を今に伝える全国唯一の例」であることが評価され認定に至っております。

筏造り見学を冬場の観光として活用してはどうかという事です。実は最近、担当課との間でも、どこかで見学させることが出来ないか検討していました。また、先日、筏流しなどの歴史的資産を研究している東

京大学大学院の柴崎准教授からも同様の話をされたところです。

筏造りの冬場の観光活用については、場所等も含めて北山振興など、関係者と協議、検討して参りたいと考えています。

(泉村長)

【質問】2番目の質問は、利用の少ないおくとろ公園テニスマ場にドッグランを開設してはどうかという事です。

家族同様のペットとの車の旅は珍しくなく、わざわざサービエリア等のドッグランに行くという話も聞きます。奥瀬道路の全線開通等により、車での来村者の増加が見込まれる中、ドッグラン開設がさらなる交流人口の誘引と観光資源の一環として期待されますが、村長の考えをお伺いします。

【答弁】ドッグランについては、犬同士、あるいは飼い主同士の交流の場となることから、都市部を中心に各地で開設されているのが現状です。ペットと旅行する際、自動車で出かけることが多く、飼い主も犬もリラックスでき、ドライブの疲れを緩和する効果を期待して、高速道路のサービエリアをはじめ道の駅でもドッグランを開設していると

ございます。

ドッグランの開設、設置によって立寄り客の増加が期待できる反面、見知らぬ犬同士、飼い主同士等の間で様々なトラブルが生じているといったようなことも報告されています。おくとろ公園テニスマ場へのドッグラン設置については、令和7年度予定しております。おくとろ公園の再整備に係る全体構想の議論の中で、キャンプサイト等の他の施設と共に、様々な角度から検討して参りたいと考えております。

(泉村長)

【意見】村長の施政方針に「北山村の魅力を最大限に発信し、積極的な誘客活動を展開する」となっていますが、もっと具体的な人が集まる村、人を呼べる村の構想を期待します。

また、低コストで施工可能なドッグラン等の私の提案も参考にして頂けたらと思います。



四季折々の村の風景

4月5日(土)、おくとろ公園において、北山村観光協会主催の『飛び地の村の桜まつり』が開催されました。

七色ダム・発電所見学ツアー等のイベントや村内外からの飲食店等の出店も約30店舗ほどあり、約850名の方が来場されたそうです。

当日は、ちょうど桜も満開で、皆さん、桜を見ながら楽しいひと時を過ごされていました。



一般質問

座談会の成果と今後の展開について

中岸 さやか



そして、次の2点を村長にお伺いします。

1点目、座談会で寄せられた意見に対して、村としてどのように実現していく予定でしょうか。

2点目、行政と村民の信頼を深めるために、村民の意見を反映するような仕組みはご検討されていますか。

【答弁】今回の子育て座談会は村長、

【質問】2月9日に開催された子育て世代が対象の北山村第1回座談会に關しての成果と今後の展開について質問させていただきます。

今回、子育て世代の親だけでなく、子供たちも一緒に参加する形を取っていただいたことに感謝いたします。座談会では、大人から子供までの幅広い視点で様々な意見や要望があり、まさに村民の声そのものだと思っております。

今回の座談会を踏まえ、4点、松本教育長と泉村長に質問させていただきます。

まず教育長にお伺いします。

1点目は、今回の座談会で得られた成果や反響がありましたか。

2点目、村民から寄せられた意見の中で、特に重要な意見は何だと思われましたか。

教育長が村民の皆さんと直接対話し、どんなことを考え、どのようなことを望んでいるのかをお聞きするため企画したもので、幾つかのねらいをもって開催しました。1つは、子育て世代の皆さんに、北山村での子育てについてどのように思っているのかをお聞きすること、2つ目に、村で実施している子育て・教育支援について話し合い、共有していただくこと、3つ目に、お話の中から今後の施策へのヒントをいただくことでした。

それでは、1点目の質問にお答えいたします。今回、座談会を開催し大変良かったのと思います。「意見を聞こうとしてくれた姿勢がうれしい」等お褒め頂くと同時に、より参加しやすい開催方法の検討等の課題

も見えてきました。また、高校への通学費助成、育英奨学金制度等の教育支援制度についても知っていたただけたと考えています。

2点目ですが、まず取り組みたい点としては、高校通学助成に關してです。バス通学定期代や寮費として1月当たり2万円を上限に支給していますが、新宮高校の寮費については賄えない状況ですので、今後の検討課題とします。また、子供から「車のスピードの出し過ぎで危なかった」との意見も出されたので、関係課、関係機関と共に対策を考えていきたいと思ひます。(松本教育長)

【答弁】2つの質問について一括してお答えします。

これまででは、村民からの意見や要望を聞く場として、毎年2月に北山村区長連絡協議会(区長会)の皆さんと意見交換を行うとともに、4月には各区長から要望や陳情を受けているところです。各区からの要望を受ける際には、私とともに、議会を代表して議長にも同席いただき、詳しく説明を受けています。

また、要望された内容については、取りまとめ、議員の皆様にもお示ししているところです。それ以外に、商工会や観光協会等の各団体から要望を受けることもあります。

今回開催した「北山村座談会」については、区長会や各団体からの陳

情・要望をお受けするだけでなく、村民の皆さんのお話を直接お聞きしたいとの思いから、初めて開催したもので、1回目として、子育て世代を対象とし、教育長と一緒に意見を伺わせていただきました。次回は、どのような括りで、どのようなねらいをもって開催しようかと考えているところではありますが、対象を変えながら幅広く実施したいと考えております。

「北山村座談会」を通じて、いただいたご意見や村への思いについては、「今の村民の声」として、役場内で共有するとともに、令和7年度に予定しています「長期総合計画」の改定をはじめとした、各種計画へ反映させることも含め、今後の政策立案の一助とすべく活用させて頂こうと考えています。(泉村長)

【意見】区総会等で個人的な意見等を発言するというのは難しいという方もいらっしゃるのでは、北山村座談会をぜひ継続していただきたいと思ひます。

また、北山村座談会での様々なご意見やご要望は各課の皆さん、他人事ではなく自分事として今後も捉えていただけたらと思ひます。

一般質問

50年の歴史

上瀬橋について

阪上 博行

【質問】上瀬橋について質問します。以後、上瀬吊り橋と呼びます。

上瀬吊り橋は、昭和50年2月に竣工され、地域の交通や観光の利便性を向上させるために架けられ、現在50年経過しています。約1年前の総務建設常任委員会の話で、令和3年に熊野市が行った橋梁点検結果はレベル2の判定でした。レベル2とは、「構造物の機能に支障はないが、予防保全の観点から措置を講ずるのが望ましい状態」とのことです。

次回の点検は令和8年になっていますが、この吊り橋に使われているピアノ線ロープは錆びているものが多く、来年の点検では問題になるのではないかと危惧されます。

ここで本題に入りますが、北山村と言えぱじやばら、そして筏、温泉と共にダム湖に架かる吊り橋がすぐく絶景を醸し出しておりまして、北山村の財産だと思っています。

この観光資源を守り、そして、この資源を活用して北山村の収益につなげるためにも、熊野市

に補修を強く要望するとか、自力でやるのか、あらゆる知恵を絞って考えるべき時期にきていると思っております。

そこで、村長にお聞きしたいと思いますが、この資源をどうやって維持していくのか、村長のご意見をお伺いしたいと思えます。

【答弁】議員ご指摘のとおり、上瀬橋は、北山川の美しい景観を楽しむ観光スポットになっており、車を止めて渡る姿や写真を撮る姿をよく見かけます。

私も、朝のウォーキング時に、吊り橋からの美しい景色を写真に収めることがよくあります。

上瀬橋については、小森地区の住民が北山に来るために市町村合併前の旧紀和町が架けた橋と伺っており、竣工は昭和50年で、今年でちょうど50年となります。

現在は、熊野市により管理がなされており、車両高1.8m、重量1t未満の通行制限が設けられています。

橋の保守点検については、熊野市において実施されており、前回の点検は、令和3年に行われ、判定の結

果は、レベル2であり、内容は、「予防・保全の観点から、措置を講ずることが望ましいが、構造物の機能に支障がない状態である」と聞いています。

今回の点検は、令和8年を予定していると思っており、今後も熊野市において適切に管理がなされるものと考えております。

(泉村長)

【意見】上瀬橋は、北山村の観光資源であり、非常に大事なもので、これから先も欠かせないものだと思っております。

その辺をよく考えていただいて、観光資源を守るために、必ず補修していただくとか、そういうことを確約していただくぐらいの意気込みで熊野市に強く申し入れていただきたいと思います。



議員のひとりごと

「この年になると近頃の若い者は・・・」という言葉が年長者間の話に出てきます。私も若いときに一度は言われたことがあると思いますが、あまりいい気分ではありません。また、この言い回しは、昔から世界中で使われてきたようで日本の古文書にも似たような記述が見られます。

特に有名なのは『徒然草』です。この文書の中で、現代風に言えば「最近の若者は教養がない」といった内容があります。このような表現は、時代に関係なく年長者が若者に対して抱く感情を反映していると言われており、古代エジプト等の文献にも同様の記述が見られます。

特に年長者の方は、長年の経験や失敗から得た実感のこもった思いがそういう言葉になって出たもので、悪気もなく軽い気持ちで言ってしまうのかも知れません。

年配者が育った時代と違い、今は世界情勢、コンピュータ、AI、SNSと時代の移り変わるスピードが速く、情報量も多い大変な時代だと思っています。その分、学びや新しい可能性も広がっており、AIやSNSの等のツールを活用することで、豊かな経験や機会を得ることもできます。

公私の区別をしっかりとつけ、自分の価値観を守り、流行に振り回されずに穏やかに生きるために「余計なことは言わない」をモットーに生きていきたいと考えています。

北山村議会議員 阪上博行

一般質問

七色大橋架橋建設促進協議会について
水道事業について

久保 學

【質問】七色大橋架橋建設促進協議会が昨年の7月に熊野市、下北山村、北山村の1市2村で組織されました。

七色ダムの下流に橋が架かると、熊野市に抜けるトンネル等の色々な構想や発展が今後見込まれると思います。

そこで、七色大橋架橋建設促進協議会の今後の取組みについて、村長にお伺いします。

【答弁】昨年7月に熊野市、下北山村、北山村の3つの市村の首長からなる「七色大橋架橋建設促進協議会」を立ち上げて、現在、私が会長になって建設促進に向けての体制づくりを行ったところです。

協議会の設立に当たっては、事前に活動の趣旨等について、和歌山、三重、両県の知事にも説明を行っております。

協議会の在り方として、私のこれまでの経験では、行政で構成する団体と議会や住民で構成する地域の団体が協同して活動する方が、活動に厚みがあるのでないかと考えており、七色大橋の建設実現に向けては、行政のみならず、住民による地元の

機運の醸成と熱心な活動を示すことが必要で、この考え方は熊野市長や下北山村長とも一致するところであります。

なお、今後の活動につきましては、実現までには解決しなければならぬ多くのハードルがあり、長い年月が掛かると思いますが、熊野市・下北山村の意見を伺いながら進めていきたいと考えております。(泉村長)

【質問】続きまして、水道事業についてお聞きます。

北山の水道施設が出来て約50年になると思います。道路に面した本管については、令和2年に渡浄水場から竹原、小瀬浄水場から相須までは入替が完了していますが、導水管等、老朽化の激しい箇所もあると思いますので、点検等を行い、改修する必要があるのではないかと思います。いかがでしょうか。

【答弁】小瀬浄水場は建設から47年程度、渡浄水場は46年程度経過しており、老朽化が否めない状況となっております。

今のところは、維持修繕等を行いながら大きな問題もなく給水ができております。

今後、南海トラフ地震等の災害時に長期間の断水の可能性も予想され、そういったことへの備えの必要性も強く感じているところです。

つきましては、水道施設の専門家や財政担当課等を交えた上で、今後の北山村の人口推移等の諸条件も考慮し、最も効率がよく、かつ災害時にも長期間の断水の影響を最小限に抑えられるような水道施設のあり方についての検討を行い、令和7年度中に整備計画を策定していく予定です。

(居軒産業建設課長代理)

【意見】老朽箇所の点検や整備計画等の策定をお願いして、私の質問を終わらせていただきます。



議会 日 誌

2月(如月・きさらぎ)
10日 総務建設常任委員会

12日 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会(和歌山市)

13日 議長・副議長・事務局長研修(和歌山市)
20日 新宮周辺広域圏事務組合議会(新宮市)

3月(弥生・やよい)
5日 議会運営委員会・全員協議会(村民会館)
10日 3月定例会(役場)

4月(卯月・うづき)
15日 総務建設常任委員会(村民会館)

25日 奥瀬道路Ⅲ期事業促進協議会総会(村民会館)

5月の予定
2日 観光筏下り開航式前夜祭(おくとろ温泉)
3日 観光筏下り開航式(オトノリ筏乗場)

14日 県町村議会議長会定期総会(和歌山市)

20日 郡町村議会議長会定期総会(古座川町)

26日 全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)